

Minoltina-S

使用説明書



Minolta

Minoltina-S



、かずある中からミノルチナ Sをお選び下さいまして
ありがとうございます

ミノルチナ Sは露出計 距離計を備えた世界最小のコ
ンパクト型35ミリカメラの本格派であります

初心者の方でも手にしたその日から上手な写真をと
ることが出来ますし 又EEカメラにももの足りないベテ
ランの方は自分の腕を充分発輝して高度な作品を作る
ことも出来ます

カメラをご使用になる前によく使用説明書をお読みに
なってカメラの特性を充分にご活用下さい

このカメラにはクロームの他ブラックも発売して
います

どちらも使用方法は全く同じです

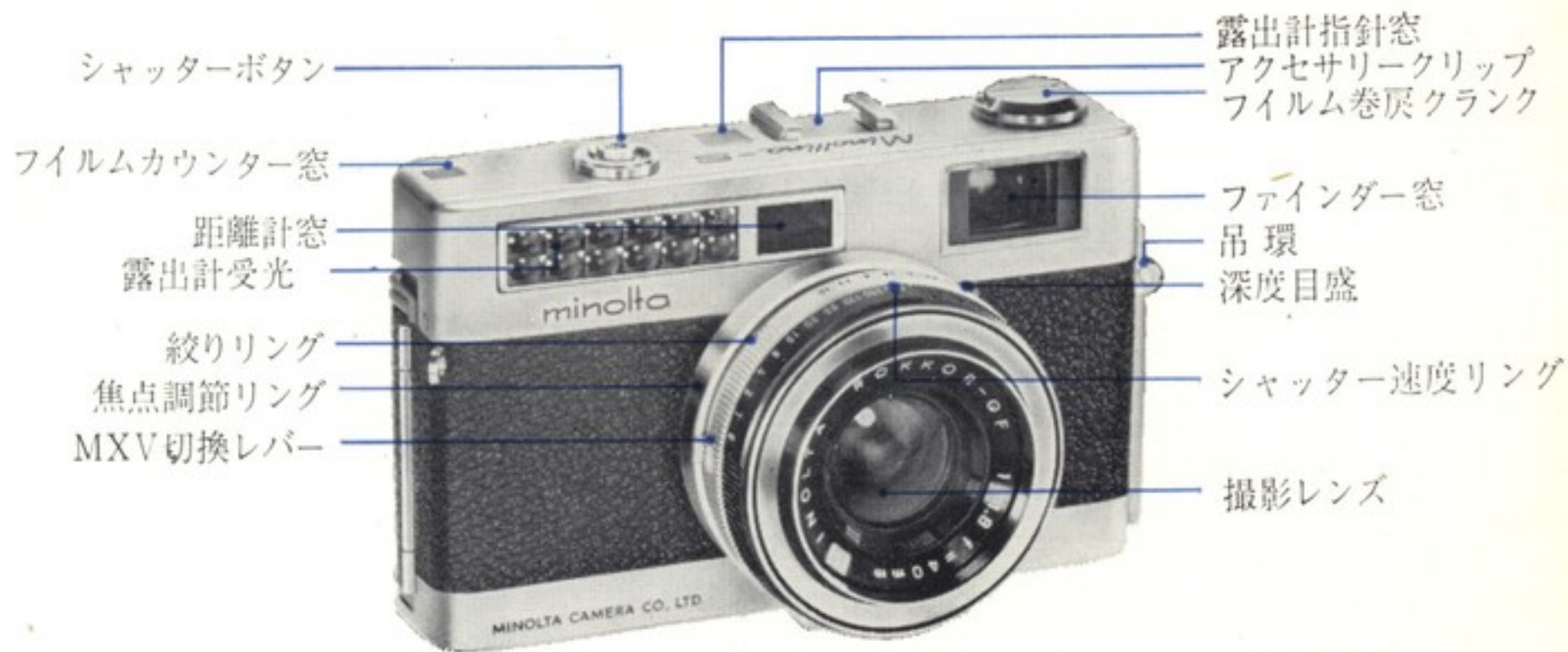
目次

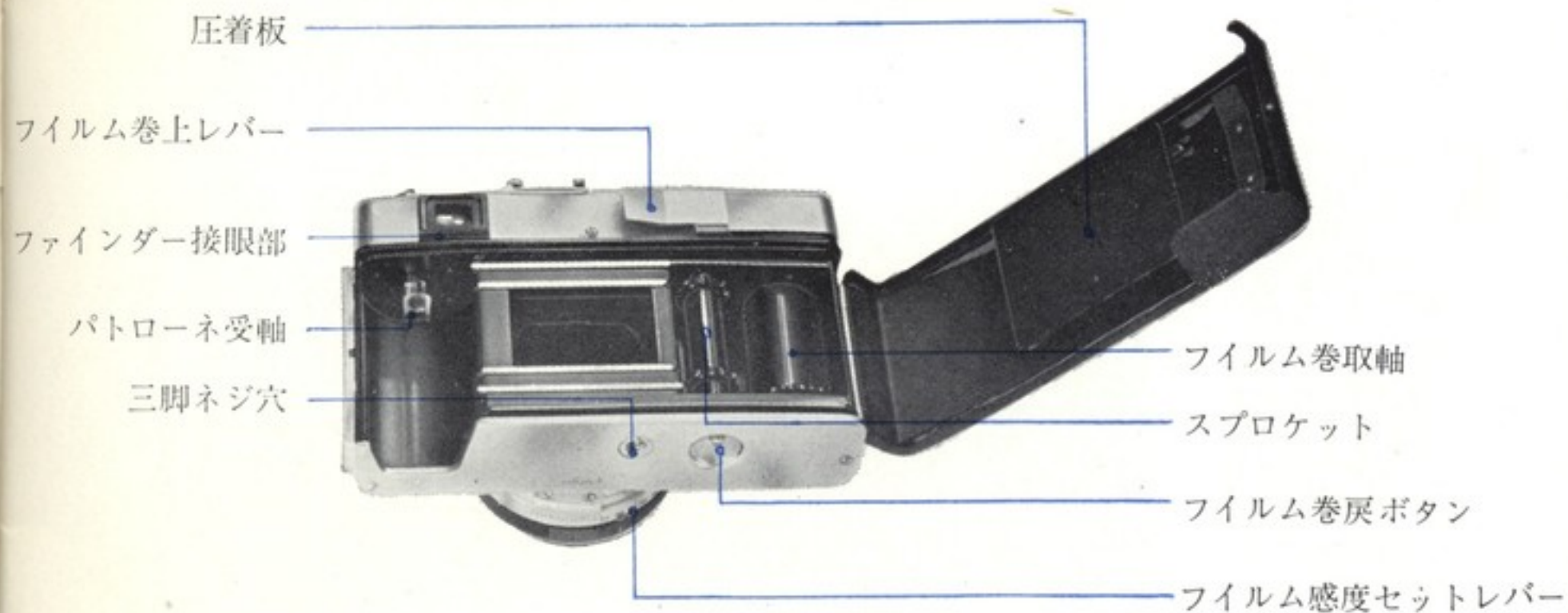
主な性能	▶ 4
各部のなまえ	▶ 5
これだけの操作で写せます	▶ 7
フィルムに入れ方	▶ 10
シャッター速度と絞り	▶ 13
露出の決め方	▶ 16
深度について	▶ 19
被写体深度表	▶ 21
ピントの合わせ方	▶ 22
ファインダーの見方	▶ 24
カメラの構え方	▶ 26
フィルムを取り出すには	▶ 29
フラッシュの撮影	▶ 31
セルフタイマーの使い方	▶ 33
アクセサリーについて	▶ 35
1ヶ年間品質保障	▶ 37
サービスステーション	▶ 38

主な性能

形式	J-135 (パーフォーレーション付 35 ミリフィルム) 使用の画面サイズ 24×36 ミリの露出計連動カメラ
レンズ	ロッコール QF F 1.8 40 ミリ (4群6枚)
シャッター	セイコー SLV B.1~1/500 セルフタイマー内蔵
シンクロ接点	M.X 接点
露出計	定点式露出計連動方式
連動範囲	E V 6.7~17 (ASA 100 のとき)
使用フィルム	ASA 25~800
感度域	
ファインダー	逆ガリレオ型採光式ブライトフレーム ファインダー パララックス補正マーク付 倍率 0.5
焦点調節	一眼二重像合致式距離計連動方式 (直進ヘリコイド)
最短距離	80cm
フィルム巻上げ	レバーによる一操作巻上げ セルフコッキング・回転角 140°
カウンター	オートマチックゼロリターン (順算式)
その他	二重露出防止 オートリターン巻戻ボタン クランク式フィルム巻戻し
アクセサリ	フード 42 ミリ カブセ式 フィルター 40.5 ミリ ねじ込み式
大きさ・重量	128 ミリ × 74 ミリ × 60 ミリ 540 グラム

各部のなまえ







これだけの操作で写せます
(くわしくは次項をごらん下さい)

1. フィルムを入れます

(フィルムの入れ方は次項にくわしく説明してあります)

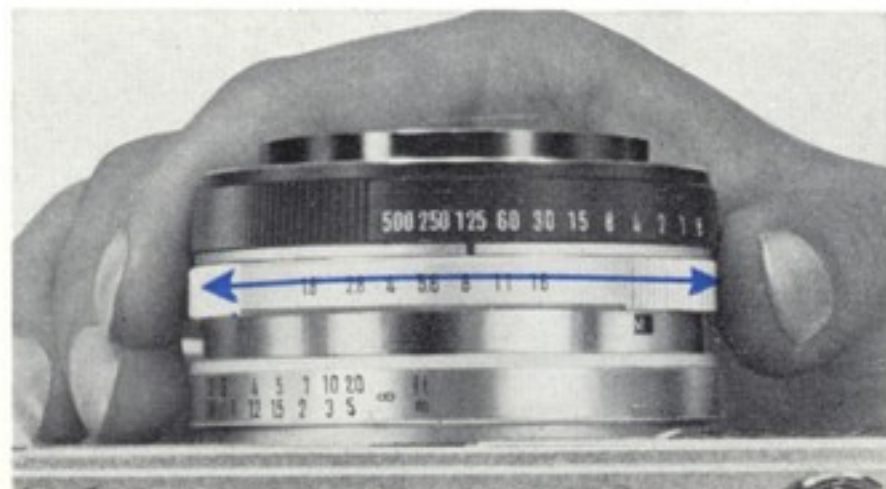
2. フィルム感度を合わせます

(フィルム感度セットレバーを使用するフィルム感度にセットします)



3. 露出を合わせます

写したいものによってシャッター速度を決め (SS級のフィルムで明かるい被写体は $\frac{1}{125}$ 、暗い被写体は $\frac{1}{60}$) 絞りリングを回して露出計の指針窓で金色の定点に指針を合わせます [この操作は絞りを決めてシャッター速度リングを回してもよいのです]





4. ピントを合わせます

距離計によってファインダーの被写体像が一つに見えた時ピントが合っています

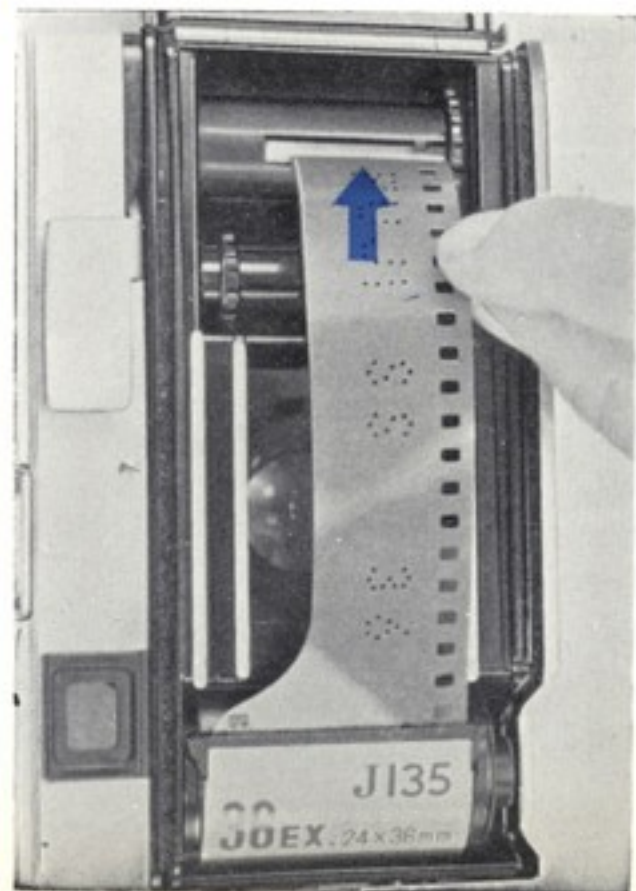
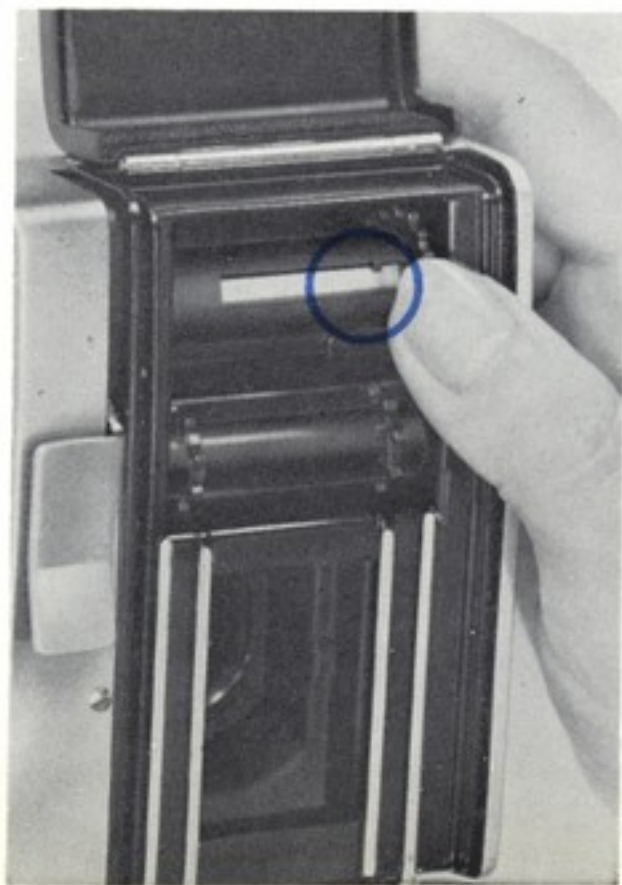
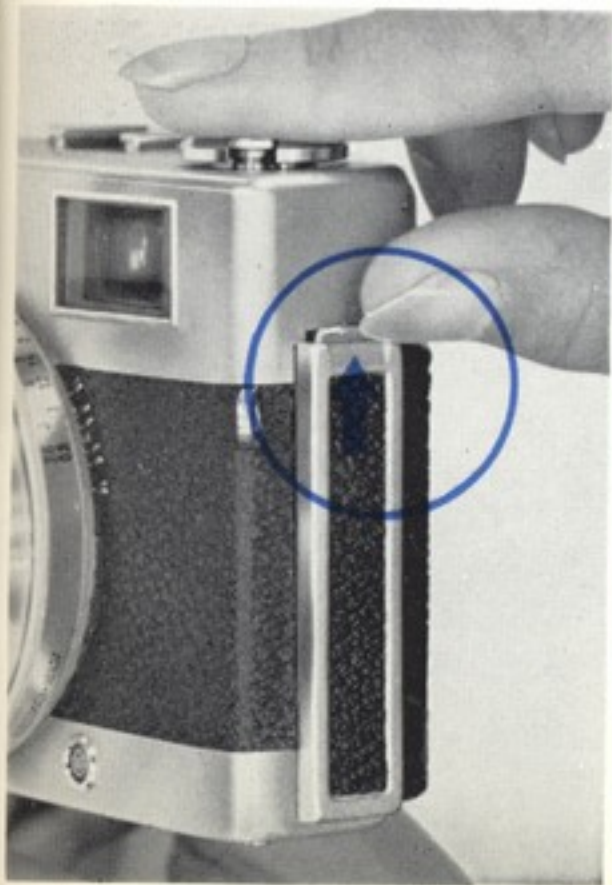
5. 構図を決めてシャッターを切ります

ファインダーのブライトフレーム(光像枠)内で正しく構図を決めます

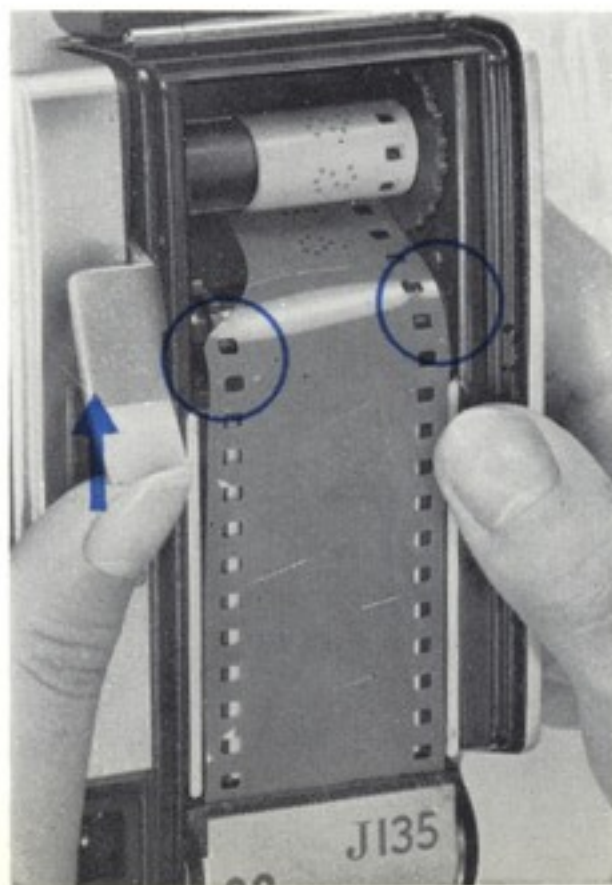
* 写す前MXV窓にM又はXが出ているか確かめて下さい Vが出ていると常にセルフが働きますからご注意ください
[通常の撮影はXにしておきます]

フィルムの入れ方

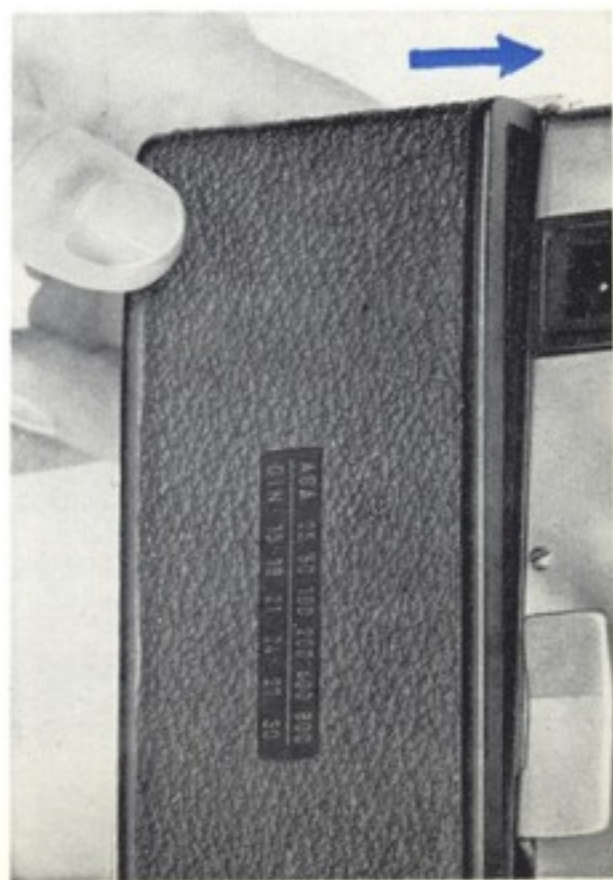
1. 裏蓋のロックを矢印方向に引くと自動的に裏蓋が開きます
2. フィルムの入っているパトローネを入れます このときパトローネの巻軸をフィルム巻戻軸に合わせます
3. フィルムの巻取軸（スプール）の端の歯車を指先で回しフィルムの差し込み溝を上に出します
4. フィルムの先端をパトローネから引き出しフィルム巻取軸の溝に差し込みます



5. 巻上レバーを回してフィルム
の両端の穴にスプロケット
の歯がかみ込むところま
でフィルムを巻き取ります
この時途中で巻上げレバー
が動かなくなるとシャッ
ターボタンを押して巻き上
げて下さい



6. フィルムが正しく送られて
いることを確かめてから裏
蓋を閉じます
蓋は軽く押すと自動的に閉
まります



7. 巻戻軸のクランクを起こして矢印方向に回しフィルムのたるみをなくして下さい クランクをもとどおりにします



8. 裏蓋を閉じたときフィルムカウンターに赤点・(スタートマーク)が出ます I が出るまで巻上レバーを巻いて空写しをします 空写しの際はレンズキャップをして下さい (フィルムカウンターは自動復元式ですから裏蓋を開くとスタートマークに戻ります)



9. あとは撮影操作を繰り返すことによって自動的に撮影枚数が表示されます (巻上レバーを巻いたとき巻戻ノブが回っておればフィルムは正しく送られています)

※ フィルムの出し入れは日陰で行って下さい



シャッター速度と絞り

シャッター

シャッターはフィルム面に光の当る時間を調整するものでレンズに入った光の通路を開閉して一定の露光時間を与えるものです。同一の絞り値ではシャッター速度を一段早くすると光量が $\frac{1}{2}$ となります。このカメラのシャッター速度は1秒から $\frac{1}{500}$ 秒まであり各目盛は倍数系列となっています。

1秒以上のながい露出を与えるにはB（バルブ）を使用して下さい。

Bはシャッターボタンを押している間シャッター羽根が開いています。この時必ずレリーズと三脚をお使い下さい。なお動きの早い被写体は速いシャッター速度を使用しないと動きによるブレを生じます。同一の動体については近くのものほど速いシャッター速度を必要とします。

◎手持ち撮影では大体 $\frac{1}{50}$ 以上の速度でない
とカメラがぶれてシャープな写真が撮れま
せんのでご注意下さい

絞り 1.8



光量 2.4

2.8



1

4



$\frac{1}{2}$

5.6



$\frac{1}{4}$

8



$\frac{1}{8}$

11



$\frac{1}{16}$

16



$\frac{1}{32}$

絞り

絞りシャッターともフィルムに与える光の量を加減する役目をしますが主に絞りは光の入る量を調整するとともにピントの合う範囲を加減します 絞り目盛はF値であらわされFいくらと云います F値は目盛一つの変化で露光量が2倍又は $\frac{1}{2}$ となるような値を用いており このF値が小さい程レンズの口径は大きくなります このカメラの絞り目盛は F1.8~16 までありその関係は F2.8 を基準として左の図のようになります

普通戸外で写すときは絞り口径を小さく（F値は大きく）し 逆に曇天や暗い処では光量が弱いので絞り口径を大きく（F値を小さく）します



露出の決め方

1. フィルム感度 (ASA) を合わせます
フィルム感度セットレバーを使用するフ
ィルム感度の目盛に合わせます
「DIN 標示のフィルムは裏蓋の ASA・
DIN 換算表で ASA に換算して合わせて
下さい」





2. 露出を測ります

カメラ（露出計の受光窓）を写したいものに向けると露出計の指針窓の緑色の指針が振れます。この指針を金色の指標に重ねる様にシャッター速度リング又は絞りリングを回します。

一般にSS級のフィルムでは明るい室内では $1/100$ 、日中戸外では $1/250$ か $1/500$ にシャッターを優先的にセットして絞りリングで調整すると便利です。

（シャッター速度は段階的に変化し中間速度が得られませんからこの方法をおすすめします）

※ブラックのミノルチナSの場合は 露出計の指針は赤で指標は黒です



3. 測るとき注意

- 動きの速いものを写すときは シャッター速度をなるべく速くしておき絞りリングを回して露出を調整します
- 集合人物とか深い奥行のあるものにピントを合わせたいときは 小絞りにしておき (P-i9でのべる深度のところを参照して下さい) シャッター速度リングを回して露出を調整します その時シャッター速度リングが目盛の中間に来た時どちらかのクリックに合わせてからあとの指針の調整は絞りリングで行って下さい。但しシャッター速度が $\frac{1}{30}$ 以下になったときカメラブレに注意して下さい
- 人物などではなるべく近寄って測り 風景では空からの反射が入らぬように注意して下さい
- フィルム感度の調節範囲は ASA 25~800 です
- ASA 100 のフィルムで測定範囲は EV 6.7 (F1.8 · $\frac{1}{30}$) ~ EV 17 (F 22 · $\frac{1}{500}$) です 但し EV 6.7 のところではそれ以下の明るさの EV 値で絞りリング、シャッター速度リングを調整してもメーターの指針が働きません
- 露出を測るとき、絞りリングで緑の指針が働かぬときはシャッター速度リングを回して調整して下さい
- シャッター速度 B のときは測定しないで下さい
- フィルターをかけた場合 そのフィルターの露出倍数だけ露出を増さねばなりません この場合 ASA 感度数を必要な露光倍数で割った値をカメラにセットすればよろしい (例えば ASA 100 のフィルムで露光倍数 2 倍のフィルターを使用したとき $ASA 100 \div 2 = ASA 50$ をカメラにセットします)

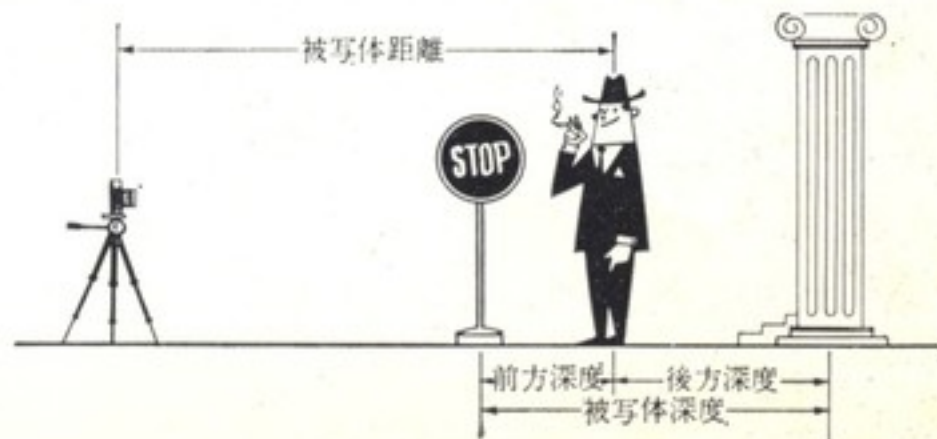
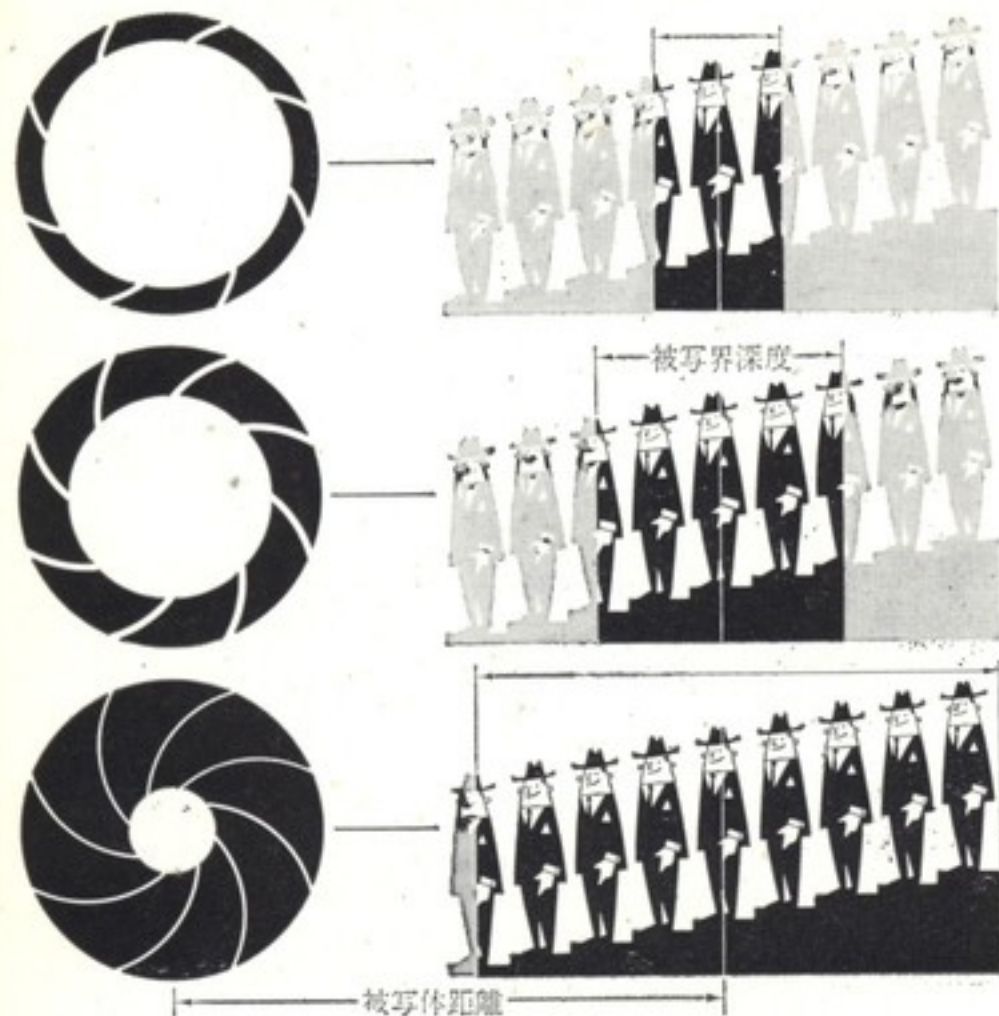
焦点深度（被写体側）について

レンズというものはある一点のものに正確にピント合わせを行った場合 その前後にいくらかピントが合っていると思われる範囲の奥行きがあります このピントが合っていると思われる範囲の奥行きを焦点深度と呼んでいます

この深度はレンズの口径を小さくする（絞りを絞る）ほど深くなり 逆に口径を大きくする（絞りを開く）程浅くなります

従って撮影する目的によって適切な絞りを選ぶことが必要です

左の図はこの関係を示します





このカメラは写真のように深度目盛がついて
いますので 写すものにピントを合わせた時使用
する絞り値に対する深度がすぐわかるようにな
っています

写真は2mに合わせた時絞りF8では約1.5~3.0
m、F16では約1.2~5mまで深度がある(ピン
トが合う)ことを示します

くわしくは次頁の深度表をご参照下さい

被写界深度について

F1.8/40ミリ レンズ被写界深度表

距離 (m) \ 絞り (F値)	1.8	2.8	4	5.6	8	11	16
∞	26.6 ∞	17.1 ∞	12.1 ∞	8.6 ∞	6.1 ∞	4.3 ∞	3.0 ∞
5	4.23 6.23	3.89 7.06	3.57 8.40	3.2 11.8	2.8 26.5	2.4 ∞	1.9 ∞
3	2.71 3.37	2.57 3.61	2.42 3.94	2.25 4.53	2.04 5.76	1.80 9.35	1.55 ∞
2	1.87 2.15	1.80 2.25	1.73 2.37	1.64 2.57	1.53 2.91	1.39 3.60	1.24 5.41
1.5	1.43 1.58	1.39 1.63	1.35 1.69	1.29 1.79	1.22 1.95	1.14 2.23	1.03 2.79
1.2	1.15 1.25	1.13 1.28	1.10 1.32	1.07 1.38	1.02 1.46	0.96 1.61	0.89 1.88
1.0	0.97 1.03	0.95 1.05	0.93 1.08	0.91 1.12	0.87 1.17	0.83 1.26	0.78 1.42
0.9	0.87 0.93	0.86 0.94	0.85 0.96	0.82 0.99	0.80 1.04	0.76 1.10	0.72 1.22
0.8	0.78 0.82	0.77 0.83	0.76 0.85	0.74 0.87	0.72 0.90	0.69 0.95	0.65 1.04



ピントの合わせ方

ファインダーの接眼枠中央に正しく眼をあてて覗きます。ピント調節は焦点調節リングを回しファインダー中央に見えるダイヤの二重像を合わせます。



ピントが合っていないとき

写真のように中央の枠の中で写そうとするものの像がずれて見えるときはピントが合っていない



ピントが合ったとき

写真のように写そうとするものが中央の枠の中で像が重なって見えればピントが合っています

この時のカメラの距離目盛が被写体までの距離を示します

ファインダーの見方



ファインダーを覗きますと周囲にブライトフレーム(光像枠)が見えます(写真の白い枠)このフレームに囲まれた部分が実際に写る範囲です

しかし近距離のものを写す場合は写る範囲が多少右下の方へずれて来ますので 1m内外のものを写すときはフレームの部分が写る範囲になります マーク(左上に見える「」形の線と右上の短い線に左下の縦の線)に合わせて構図を決めて下さい







カメラの構え方

カメラの構え方は大きく分けて縦位置と横位置の二通りあります。カメラが動かぬようしっかり保持して静かにシャッターボタンを押して下さい。

カメラが動くとせっかくの写真がぶれて駄目になります。

注 フィルムカウンターに36又は20が出て巻上
レバーが重くなった時は無理に巻き上げる
とフィルムが切れたり パトローネから外
れたりしてフィルムの巻き戻しが出来なく
なるのでご注意下さい





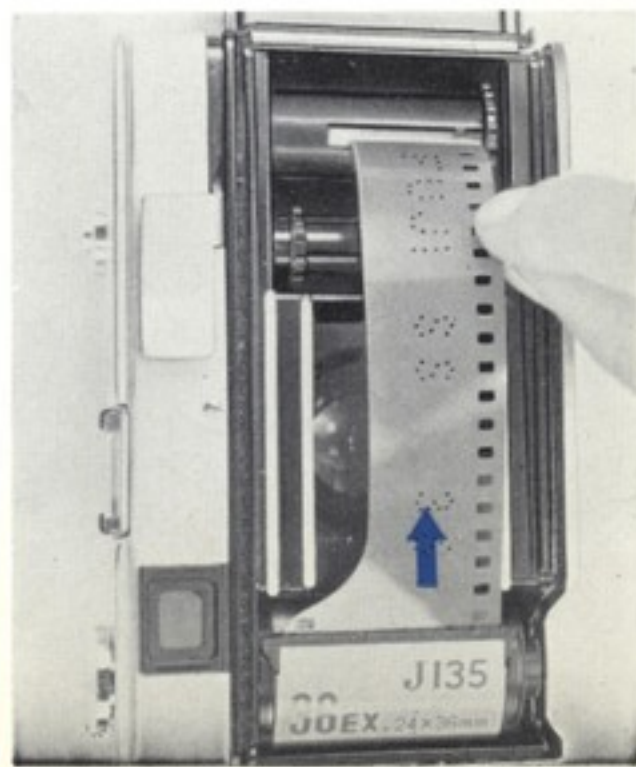
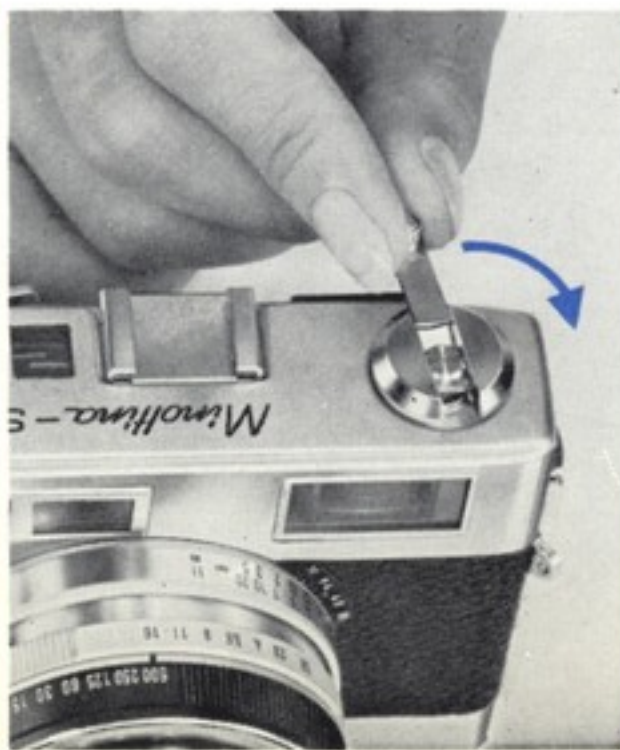
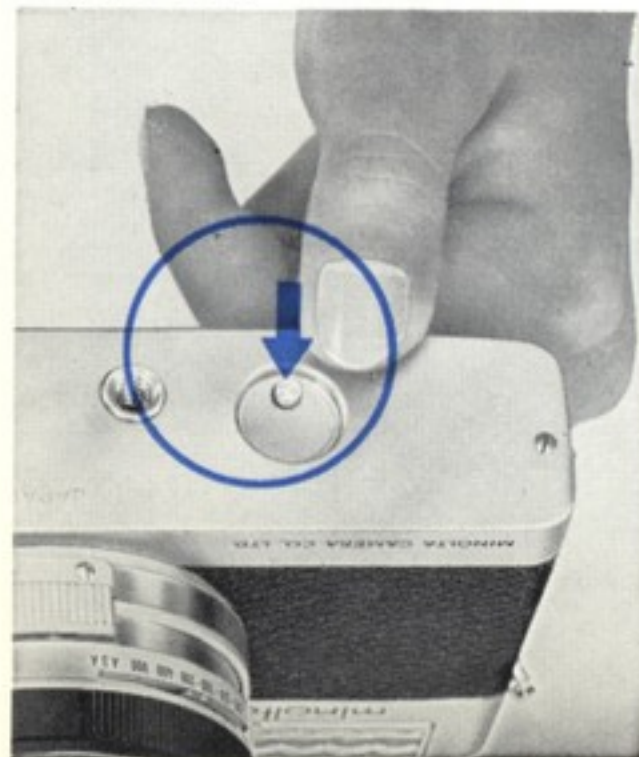
フィルムを取りだすには

写し終わったフィルム（フィルムカウンター窓に36又は20が出る）はパトローネを取り出す前に必ずフィルムをもとのパトローネに巻き戻さねばなりません

1. カメラ底部のフィルム巻戻ボタンを押します このボタンは巻き戻し中に手で押している必要はありません
(巻戻ボタンは巻上レバーを巻上げると自動的にボタンが戻ります)

2. 巻戻クランクを起し矢印方向にまわします フィルムがスプールから外れるとき少し抵抗を感じます
この時の手ごたえで巻き戻しの終わった事がわかります

3. 巻き戻しが終わったら（抵抗感がなくなったら）裏蓋のロックを外して裏蓋を開いてパトローネをとりだします







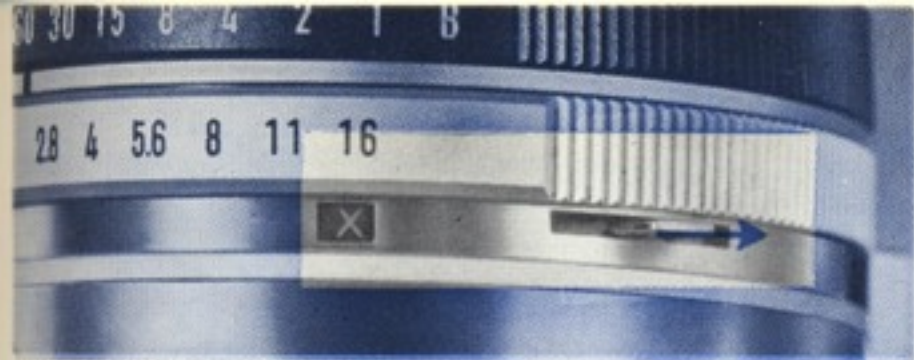
フラッシュ撮影

夜間や室内の光量不足の場所で撮影するには閃光球（フラッシュバルブ）かスピードライト（ストロボ）を用いてフラッシュ撮影をします

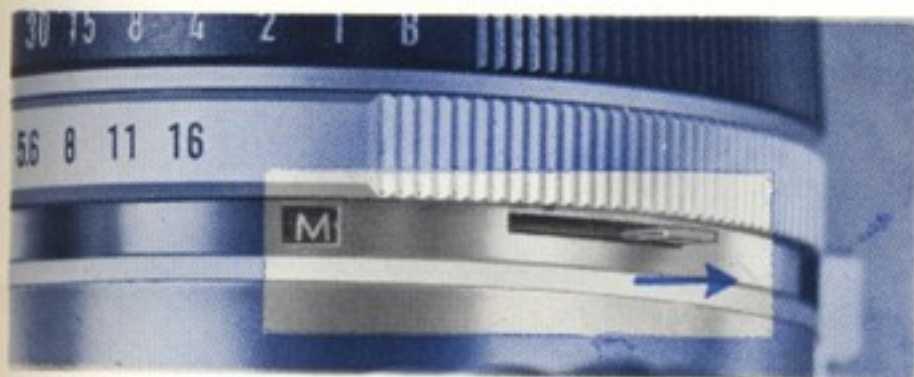
フラッシュガンアクセサリークリップに差し込みシンクロターミナルにフラッシュガンのコードのプラグを差し込みます

MXV切換レバーをスピードライトの時はXに M球使用の時はMにセットします
フラッシュ撮影をする時の露出は閃光球又はスピードライトのガイドナンバーによってきめます

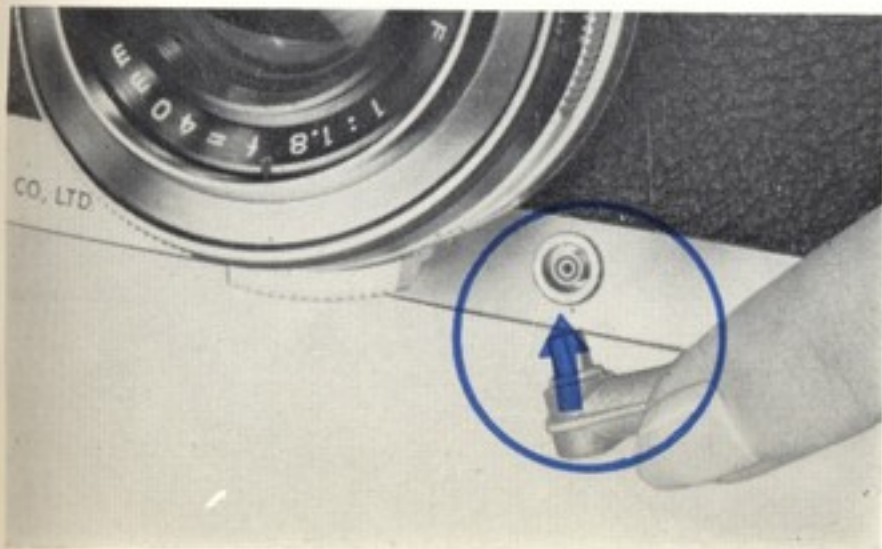
このカメラはM・X いずれでも全速度に同調します



- MXV切換レバーをXにしたとき



- MXV切換レバーをMにしたとき



露出の決め方

1. 閃光球又はスピードライトを用いる時使用するフィルムとシャッター速度によってそれに対応するガイドナンバーを読みとります
(ガイドナンバーは閃光球又はスピードライトの説明書に記入してあります)
2. ガイドナンバーがわかると次式によって絞り又は被写体距離を求めます

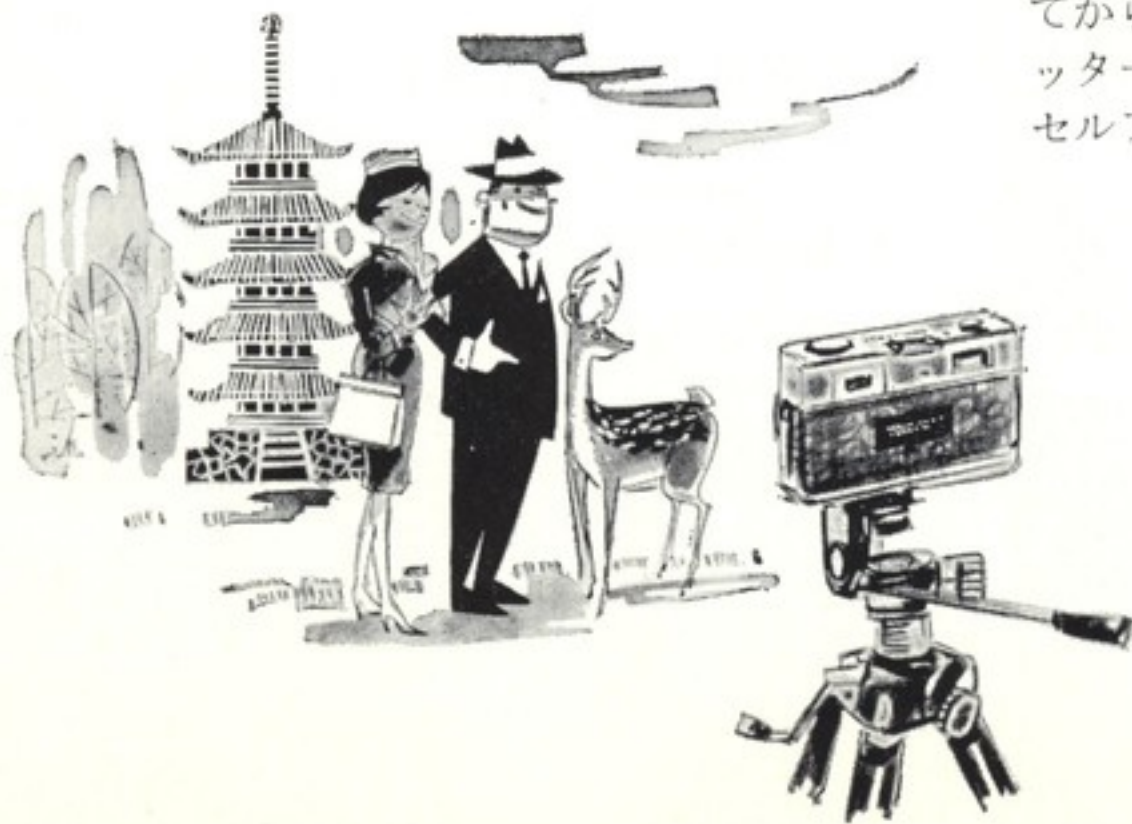
$$\text{求める絞り} = \frac{\text{ガイドナンバー}}{\text{被写体距離}}$$

$$\text{被写体距離} = \frac{\text{ガイドナンバー}}{\text{絞り}}$$

セルフタイマーの使い方

記念撮影や旅行などで自分も一諸に写したいとき セルフタイマーを使用します

セルフタイマーはMXV切換レバーをVにセットすると 約10秒間セルフタイマーが働いてからシャッターが切れます 又スローシャッターを使う時カメラブレを防ぐ方法としてセルフタイマーを利用する事も出来ます





1. レンズ鏡胴部のMXV切換レバーを矢印の方向に動かすとVの文字がでます。これがセルフの表示です。
 2. 絞りとシャッター速度を決めてからシャッターボタンを押します。
 3. セルフが動き始め、その終る頃（約10秒後）シャッターが切れます。
- ◎ セルフタイマーを使用してフラッシュ撮影をするとき、シンクロ接点はX接点になります。フラッシュバルブを使う時はシャッター速度を $\frac{1}{30}$ にしてご使用下さい。

アクセサリ



- ・無用の光線を防ぐため
ミノルタレンズフード
フラッシュ撮影の時などにレンズの写角外から入る有害な光線をカットしてより美しい写真をとるためにレンズフードをお使いになることをおすすめします ¥ 500(ケース付)

- ・写真を美しくするために

ミノルタフィルター

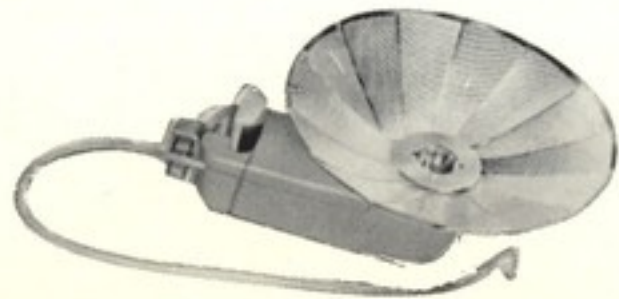
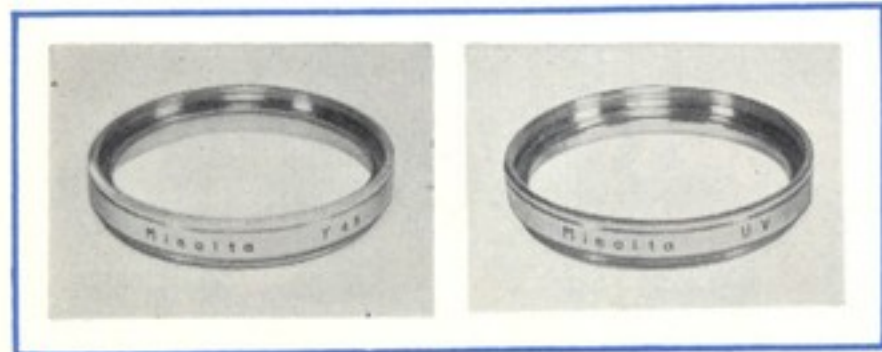
- UV 紫外線のみを吸収するので海浜 高山などの撮影にお使い下さい
又 露出倍数がかかりませんのでレンズの保護としてつけっぱなしにしてもよく カラー撮影の常用フィルターとしても便利です ¥ 600

- Y-48 白黒フィルムで撮影する時 海浜 雲のある風景等の撮影で青味をおさえ白雲を強調したいときに効果があります ¥ 600

- ・光量不足のところ

ミノルタフラッシュガン

- 夜間やうす暗い光量不足の場所での撮影には強力なミノルタデラックスガンをお使い下さい ¥ 1,400





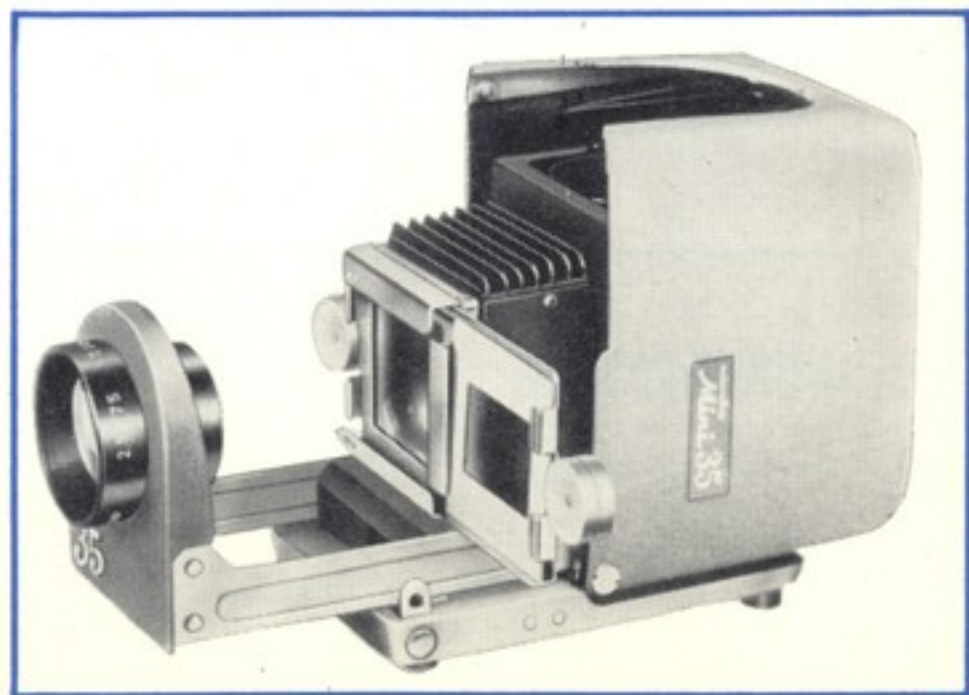
・カラー写真をたのしむために

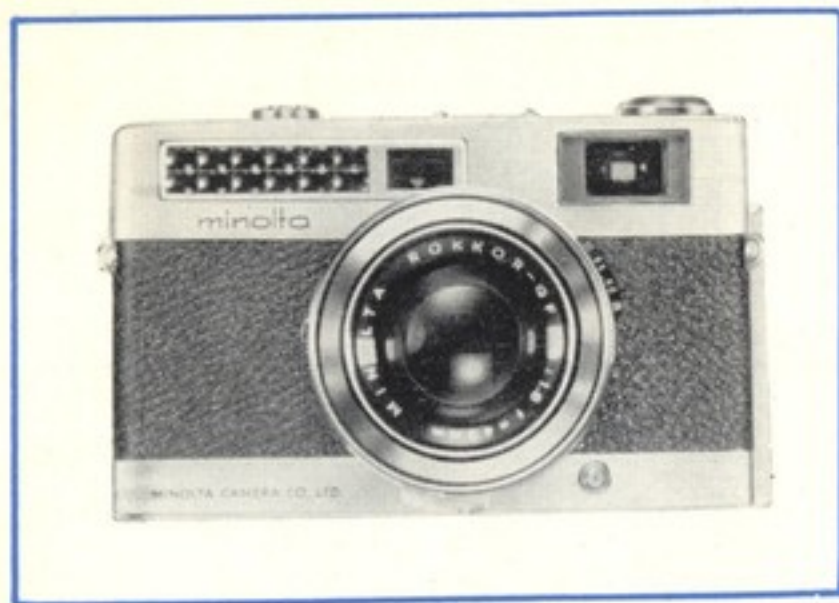
ミノルタミニ35スライド映写機

カラーで撮影したスライドを一家揃って
楽しく映写して下さい

せまい部屋でも大きく写せます

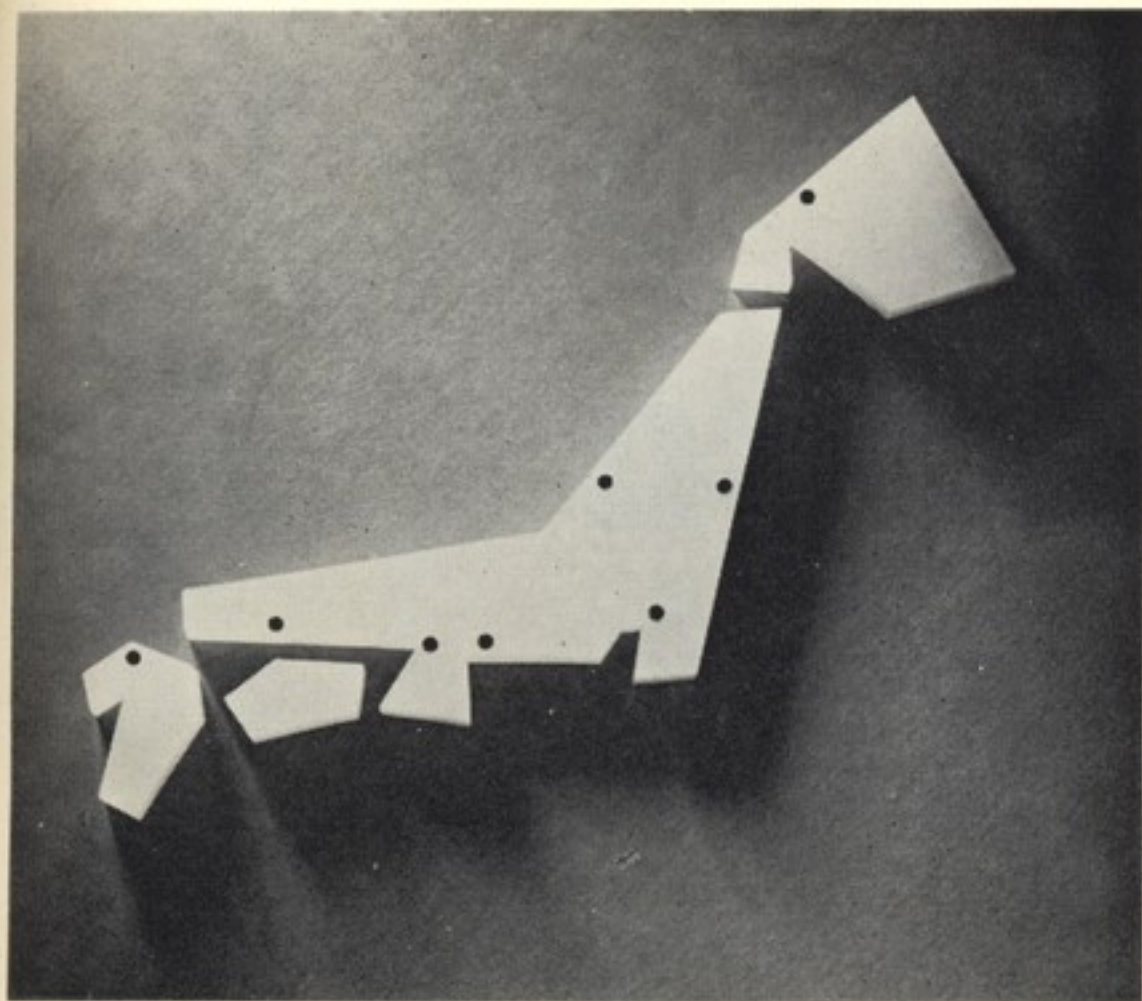
¥ 4,450 ケース350





1 年間品質保証

カメラの化粧箱に入っている愛用者カードは 所要事項をご記入の上10日以内に切手を貼らずにミノルタカメラ宛お送り下さい。そうすれば あなたのカメラは当社の台帳に記載され折返し1年間保証証書をお送り致します。修理のときも今後のあなたとの通信連絡或は万一の盗難の時にも役立ちます。万一故障の場合は直ちに各地サービスステーションへご相談。又はお送り下さい。



各地サービス・ステーション所在地

- | | |
|-----|--|
| 東京 | 東京都中央区銀座東 6-7 (木挽館新館)
TEL (542) 1261 (代表) |
| 新宿 | 東京都新宿区角筈 1 丁目 1
(新宿ステーションビル)
TEL (352) 6 5 5 2 |
| 大阪 | 大阪市南区塩町通り 4-18
TEL (271) 8671 (代表) |
| 名古屋 | 名古屋市中区広小路通り 4 の 8 (名神ビル)
TEL (22) 8 7 6 1 |
| 福岡 | 福岡市大浜町 3 丁目 25 番地の 2 (迎陽ビル)
TEL (2) 3 7 5 6 |
| 札幌 | 札幌市北二条西 3-1 (越山ビル内)
TEL (25) 9 6 8 1 |
| 広島 | 広島市千田町 1 丁目 3-13
TEL (41) 1 4 0 1 |
| 仙台 | 仙台市勾当台通八番地 (熱海ビル)
TEL (23) 8 7 8 3 |
| 新潟 | 新潟市東大通一丁目 23 (マルタケビル)
TEL (4) 3 0 2 6 |

Minolta

ミノルタカメラ株式会社

大阪：大阪市南区塩町通り4の18 (271) 8 6 7 1

東京：東京都中央区銀座東6の7 (542) 1 2 6 1